

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	数値計算特論		
英文授業科目名	Topics on Numerical Computation		
開講年度	2007年度	開講年次	
開講学期	後学期	開講コース・課程	博士前期・後期課程
授業の方法		単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-情報工学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	情報工学専攻		
担当教官名	緒方 秀教		
居室	西4-307		

公開E-Mail	授業関連Webページ
ogata@im.uec.ac.jp	http://www.im.uec.ac.jp/~ogata/

【主題および達成目標】

偏微分方程式の数値解法のうち、境界要素法と（最近注目されている）CIP法を扱う。

【前もって履修しておくべき科目】

学部で習う微積分，線形代数，常・偏微分方程式，数値解析に関する科目。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

【教科書等】

参考書

田中正隆・松本敏郎・中村正行「計算力学とCAEシリーズ2 境界要素法」（培風館，1991年）

矢部孝・内海隆行・尾形陽一「CIP法 原子から宇宙までを解くマルチスケール解法」（森北出版，2003年）

【授業内容とその進め方】

1. 境界要素法
2. CIP法

電気通信大学 平成19年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法：授業期間中に課すレポート 100%

(b) 評価基準：

(b1)境界要素法を理解していること。

(b2)CIP法について、どのような方法であるかを理解し、どの程度有効であるか自分なりに感覚をつかんでいること。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜受け付けるが、事前に電子メール・電話等でアポイントをとること。

【学生へのメッセージ】

勉強してください。私も勉強します。

【その他】